

報道関係者各位
2017年12月19日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK: 945

マニユライフ生命、 平成29年度東京都スポーツ推進企業、 および、スポーツ庁のスポーツエールカンパニーに認定

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼CEO: ギャビン・ロビンソン、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、健康増進のためのウォーキングを促すスマートフォンアプリ「Manulife WALK (マニユライフ ウォーク)」を使用した取り組み等に対し、東京都より「平成29年度東京都スポーツ推進企業」、および、スポーツ庁より「平成29年度スポーツエールカンパニー」の認定を受けました。

人々が前向きに生きるためには、心身の健康、すなわち「ウェルネス—よく生きること」が大切だと、マニユライフ生命は考えます。2016年には皆さまのウェルネス向上を目指してさまざまな提案やサポートを提供する社会貢献活動の取り組み「Manulife Wellness Lab(マニユライフ ウェルネス ラボ)」をスタートし、その最初のプログラムとしてこのアプリを開発しました。

「マニユライフ ウォーク」は、目標歩数を達成するとカンボジアの子どもに運動靴を寄付するシューズ・ドネーションができる社会貢献活動のツールになっています。これまでに約1,400足の靴が、カンボジアの子どもたちへ贈られました。

マニユライフ生命では、社内でアプリを活用したウォーキング推進キャンペーンや、社員が歩いた歩数を1歩1円として東北や熊本の被災地に会社が寄付をするイベント等の取り組みを行なっています。当社が2017年12月1日に3年間のスポンサーシップ契約をスタートしたプロランナー大迫傑選手も、アプリを通じてシューズ・ドネーションにチャレンジしています。

東京都スポーツ推進企業制度は、従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における支援を実施している企業等を認定しています。また、スポーツ庁は今年より、社員の健康増進のためのスポーツの実施に向けた積極的な取組を行なっている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定しています。

「マニユライフ ウォーク」のダウンロード方法など、詳細は、「マニユライフ ウェルネスラボ」ウェブサイト(wellnesslab.manulife.co.jp/walk)をご覧ください。

マニユライフ生命は、今後も社会貢献活動、および、皆さまの健康増進に積極的に取り組んでまいります。

アプリ「マニユライフ
ウォーク」のトップ画面

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、130年の歴史を持ち、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の3つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」のもと、お客さまが自ら健康で豊かな未来を切りひらいていくためのサポートをしています。詳細はホームページ(www.manulife.co.jp)をご覧ください。

マニユライフについて

マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションは、世界有数の大手金融サービスグループです。米国においてはジョン・ハンコックのブランドで、その他の地域ではマニユライフとして事業を行い、お客さまの夢や志をかなえるための的確なアドバイスやソリューションをご提供しています。マニユライフは個人・団体・機関投資家のお客さま向けに、ファイナンシャル・アドバイスや保険、資産運用・形成のための商品やサービスをご提供しています。2016年末現在、マニユライフは世界中で35,000人の職員と70,000人のエージェントおよび数千の販売パートナーを擁し、2,200万を超えるお客さまに商品やサービスをご提供しています。マニユライフの管理運用資産は、2017年9月末現在およそ1兆カナダドル(8,060億米ドル)です。また、過去1年の間にお客さまにお支払いした保険金、給付金および利息は約261億カナダドルとなりました。マニユライフは主にカナダ、米国、アジアで100年以上にわたって事業を展開しています。カナダのトロントに本拠を置き、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。

